

かきはる

由布市立庄内中学校
学校通信 第12号
2022/3/15 発行
文責 首藤 茂

有終の美 卒業式 3月4日(金)

3月4日(金)、第52回卒業証書授与式を開催しました。昨年度に続き、新型コロナウイルス感染対策のため、卒業生と在校生代表、保護者、教職員のみでの参加で実施しました。校長式辞で、コロナ禍の中で生徒会活動等を工夫して行ったこと、3年間由布学に取り組み、「ふるさと庄内の人口を増やすにはどうしたらいいか」を真剣に考えたこと、そして、プロ棋士の藤井聡汰さんの話をして饒の言葉としました。佐藤懿好さんが在校生を代表して、卒業生への感謝の言葉と在校生が伝統を引きついでいくという決意を述べました。卒業生を代表して高橋蓮さんが、「旅たちの言葉」を述べ、部活動や生徒会活動、学校行事等の思い出や友だち、家族、教職員等への感謝の言葉と今後の決意を語ってくれました。思い出を語る中で、卒業生11名が、その時の想いを短歌に詠み発表してくれました。

- ・入学式 迎えてくれた 桜草 これから始まる 僕らの時間 (小野高太郎)
- ・宿泊研 勾玉づくりに 無我夢中 止まぬ雨すら 飛ばす思い (安部拓海)
- ・ライスカレー いろんなルーを 混ぜ合わせ 首をかしげる 不思議な味に (衛藤勇)
- ・宇佐神宮 雨の中での お参りは 朱色のお殿 雨に煙るよ (三重野優雅)
- ・ヒバリ鳴き 季節外れの スキー場 予想と違えど 気分爽快 (麻生皇我)
- ・重圧で 頭の中が 真っ白に 大役終えた 専門委員長 (田中大輝)
- ・気が付けば 夕日に染まる テニスコート 後輩たちとの 終わりの礼 (平松幸穂)
- ・コロナ禍で 不安漂う 体育祭 快晴に込める 熱き思い (大津留悠)
- ・天高し 絆深まる 最後の合唱 みんなの心に 歌声響け (梶原ひなた)
- ・バカ言って アホみたいに 笑い合う そんな一日 青すぎた春 (森川万色)
- ・いつの日も そっと見守る 母がいた 思いを込めて 証書を渡す (坂本大翔)

卒業生が、仲間と共にこの庄内中で学んだことを糧にして、夢に向かって力強く一步一步前進し、それぞれの道で大きく羽ばたいていくことを祈念いたします。

